

事件の概要

- ・愛知県在住の男性が自作プログラムを用いて、図書館のホームページにアクセス



- ・閲覧障害が発生、攻撃の疑いを考え図書館側が被害届を提出



- ・男性が偽計業務妨害の容疑で逮捕、20日間の拘留



事件の問題点

- 自作のプログラム

攻撃目的でなく情報収集目的、アクセス回数も考えられる範囲

- 図書館の設備

ソフトウェアを開発した会社は問題点に気づいていた

- 図書館の対応

本当に被害届を出すしかなかったのか

見えた課題

- 図書館側の対応

対応順序に問題はなかったか

- 技術者への影響

技術を用いることで逮捕の危険があるという恐怖

- 企業の問題

発見した問題点に対しての取り組み



参考文献

日本図書館研究会研究例会（277回）報告

www.nal-lib.jp/events/reikai/2010/277report.html

クローラ作者の逮捕とエンジニアの不安

<https://hatenaneews.com/articles/201009/1696>